

I 福山市

ミッション

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。

ビジョン

各中学校区・学校が、資質・能力の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 学校関係者評価報告書は全項目「十分満足できる」と評価された。中学校校区で連携を深め、共通の取組で成果をあげている。各校の目標が達成できていないものについては取組の進捗状況を細かく把握し課題克服に向けて PDCA サイクルに則り実践する。	児童生徒の現状 全国学力調査の結果、福山市の平均正答率を上回ることができたものの、正答率40%未満の生徒の割合は少ない。また、不登校児童生徒も少なからずいる。	育成す 資質・能力 めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) 中学校区として 統一した取組等	主体的に判断する力・課題を発見し解決する力・地域社会と協働して貢献する力 ・自ら考え、判断し、行動できる自律した児童生徒 ・豊かな心を持ち、お互いを尊重し、人を大切にする児童生徒 ・CS をベースにした校区合同研修と合意形成を意識した授業研究及び教科等部会の取組 ・DC 教育を基に、ICTを活用した個別最適化した授業実践及び協議・交流の取組 ・家庭での効率的な学習計画の立て方・メディアとの付き合い方への取組
---	--	--	--

III 自 校

ミッション 目標を持ち、実現に向けて粘り強くチャレンジしようとする子どもを育てる。	育成する 資質・能力	課題を発見し解決する力	主体的に判断する力	地域社会と協働して 貢献する力
学校教育目標 自ら考え、判断し、行動できる樹徳っ子の育成	めざす 子ども像	1～3 年生 ・「不思議だな」「何故かな」「やってみたい」を見つ けることができる。 ・自分で調べたり、他者と協 同したりしながら、取り 組むことができる。	・自分の考えを伝えたり、相 手の考えを聞いたりしな がら判断することができる。	・地域の人と意欲的に活動す ることができる。 ・自分がやるべきことを、あ きらめないでやり抜くこ とができる。
現 状 <児童> ・全国学力・学習状況調査では国語・算数ともに全国平均と同等であるが、40%未満 の児童の割合が高く、学力が二極化している。 ・失敗を恐れるあまり慎重になる児童もいるが、多くは、「何事にもチャレンジしたい」 という思いをもっており、9割近い児童は、「学級や委員会での自分の役割を果たしてい る」「目標や努力することを決めて取り組んでいる」と回答している。 <授業> ・国語科において、学習課題を立て、目的意識を持って読解に取り組む授業展開を積み 上げている。 ・約8割の児童が、「授業で新しいことを考えたり、友達と話し合ったりすることが楽 しい」と感じているが、考えを深め合う活動には至っていない。 ・総合的な学習の時間や生活科が、探究的な単元構成になっていないため、相手意識を もっての表現の場づくりが不十分である。	4～6 年生 ・既習内容や知識をもとに、 探究したい課題を見つける ことができる。 ・根拠を明確にしながら考 え、よりよい方法等を見 出すことができる。	・明確な価値基準を持って自 分の言動について考え、判 断することができる。	・地域の一員としての自覚を 持ち、地域活動に参加する ことができる。 ・自分の役割を自覚し、役に 立つ喜びを感じながらや り抜くことができる。	
	研究	テーマ 内容等	確かな学力の定着をめざす授業づくり ～知識・技能を土台とし、思考力の広がりを持たせる学習活動を通して～ ・導入の工夫、思考・表現場面・繰り返し学習を位置付けた単元づくり ・教科横断的、探究的な学習展開	
	めざす授業の姿		・「分かった」「できた」を実感する授業 ・児童が自ら課題を見つけ、学習を広げたり、深めたりする授業 ・相手、目的意識をもって表現する授業	

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立樹徳小学校

年 目	中期経営 目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	力 付 け 評 価	達 成 評 価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力 付 け 評 価	達 成 評 価	総合 評価	改善方策
2	自ら考え ようとする意欲を 育み、基礎 学力、思考 力・表現力 を付ける。	★	見 直 し	「分かった」「できた」を実感するよう基礎学力の定着・向上を図る。	・授業始め、帯タイムで繰り返し学習を行う。 ・紙媒体とデジタル教材を効果的に併用する。 ・家庭学習の内容や時間を見直し、充実させる。	・学期末確認テスト(知識・技能) 国語・算数85点以上 ・「授業で、「分かった」「できた」と実感することが増えた」85%以上	□学期末確認テスト(知識・技能)平均 国語:80点、算数:86点。 □「授業で、「分かった」「できた」が増えた」89.1% ・学年で確実に定着させる内容を授業始め等に復習している。 ・帯タイム、家庭学習での繰り返し学習が十分ではない。	3	3	・学年で行う繰り返し学習の内容を明確にして継続する。 ・意欲喚起に向けて、全校で検定大会を行う。 ・取組状況と成果を学期毎に検証し、さらに改善する。	□学期末確認テスト(知識・技能) 国語86.6点、算数86.8点 □授業で、「分かった」「できた」と実感することが増えた」90.4% ・漢字や計算の繰り返し学習、全校の検定大会により、定着してきたことが意欲にもつながっている。	4	4	4	・各学年で学ぶ基礎的な力を明確にして、繰り返し学習、家庭学習を継続する。 ・定期的な漢字、計算検定で意欲を喚起しながら定着を図る。
			継 続	意欲を喚起し、思考力・表現力を育む授業づくりを行う。	・必然性をもって深く思考する学習活動を单元内に位置付ける。 ・自分の考えを表現する学習活動を行う。	・学期末確認テスト(思考・表現力) 国語・算数80点以上 ・「自分の考えを伝えようと努力した」75%以上	□学期末確認テスト(思考・表現力)平均 国語:84点、算数:74点。 文意を捉えて立式することに課題がある。 □「自分の考えを伝えようと努力した」82.5%	3	3	・表現する方法を具体的に児童に示す。 ・指示と発問を区別し、思考したり表現したりするための時間を確保する。	□学期末確認テスト(思考・表現力) 国語83.3点、算数78.4点 □「自分の考えを伝えようと努力した」80.4% ・思考を深める発問を意識し、表現の方法や型を児童と共有した。	4	3	3	・相手意識を持たせて表現する活動を仕組む。 ・思考スキル、表現の型を提示しながら学び方を指導する。
4	自他を認め、相手を思いやる心を育む。		継 続	自分の役割を自覚しながら、協働してやり抜く力を育む。	・縦割活動等の目的を踏まえて行動目標を立て、それに対する振り返りを継続する。 ・自分の言動を振り返る機会を持ち、自覚を促す。 ・自主的な係、委員会活動を促進する。	・「学級や委員会での自分の役割を果たしている」80%以上 ・「目標や努力することを決めて取り組んでいる」80%以上	□「学級や委員会での自分の役割を果たしている」86.3% □「目標や努力することを決めて取り組んでいる」86.0% ・役割を意識し、協働してやり抜いていこうという意識が高まっている。	3	4	・代表委員会や児童集会を通して、学校の取組に参加し、振り返る活動を促進する。 ・役割意識を持たせるために、縦割り班活動、ペア学年活動を充実させる。	□「学級や委員会での自分の役割を果たしている」83.7% □「目標や努力することを決めて取り組んでいる」84.0% ・児童会を主体に挨拶運動やペア学年での行事を通して、役割を自覚し協働して取り組む姿が見られるようになってきた。	4	3	4	・目的を明確にして縦割り活動、ペア学年活動を仕組む。 ・学校全体の課題が委員会活動の取組につながるよう、年間計画を立てる。
4	自らの生活を律するたくましい心と体を育成する。	★	新 規	生活習慣を自分でマネジメントしようとする態度を養う。	・教科と関連させたり、家庭と連携したりして、自身の生活習慣を振り返り、自己目標を立てて取り組む活動を行う。	・「自分で寝る時刻、起きる時刻を決めて守っている」80%以上 ・「テレビ、ゲームなどの時間を決めて守っている」70%以上	□「自分で寝る時刻、起きる時刻を決めて守っている」79.8% □「テレビ、ゲームなどの時間を決めて守っている」77.4%	3	3	・生活リズムの大切さについて、教科や学活と関連付けながら継続して考える機会を持つ。 ・自分で自己目標を設定し、振り返る活動を取り入れる。	□「自分で寝る時刻、起きる時刻を決めて守っている」79.9% □「テレビ、ゲームなどの時間を決めて守っている」74.3%	3	3	3	・児童と課題を共有し、改善に向けた計画を立てる。 ・アウトメディアチャレンジ週間を計画的に行い、保健だより、学年通信等で成果を発信する。

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					</
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]	
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。